

cobas h 232 エラーリスト
SW 03.00.00/03.00.01 バージョン用
Ver.4.0

ご不明な点などございましたら、下記までお問い合わせください。

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社カスタマーセンター
フリーダイヤル 0120-600-152(小型簡易機器:6)
受付時間 月～金(祝日除く) 8:30～18:00

はじめに

- **コバス h232 プラスをご使用にあたっての注意点**

- ・ 試験紙の箱に入っているコードチップは、使用期限までご施設で保管をお願い致します。
- ・ 機器の光学システムの性能確認のために、適宜カーディアックリーダーIQC による機器のチェックをお勧めいたします。
カーディアックリーダーIQC コバス h232 用(商品番号:507176)は、開封後 6 か月間は繰り返し使用可能です。
(期限が残っていても開封後 6 か月経過しましたら、または開封後 6 か月に満たなくても使用期限になりましたら、新しいものと交換をお願い致します。)

警告 エラー 番号	画面上日本語表示	対処法
I-001	<p><u>バッテリー電圧低下</u> バッテリーの電圧が低下しています。至急、交換または充電してください。</p>	<p>●本装置を電源ユニットに接続して、バッテリーパックを充電するか、フル充電したバッテリーパックを取り付けてください。 ●または電源ユニットをご使用ください。 ●バッテリーパックの寿命が考えられる場合には新しいバッテリーパックに交換してください。</p>
I-002	<p>患者 ID 入力した患者 ID はリストにありません。</p>	<p>●リストにある患者 ID を入力してください。</p>
I-004	<p><u>メモリーフル</u> 装置がメモリーフルになるまで、あと%ld 回測定を行えます。 POCT ベースユニットに接続するか、この設定を無効にしてください。</p>	<p>●本装置をコンピューターに接続していない場合は「セットアップ→データハンドリング→通信」で、コンピューターをオフにしてください。そうすれば、新しい測定を行うたびに最も古いデータが削除され、このエラーが起こらなくなります。 ●本装置をコンピューターに接続してデータを送っている場合は、装置を POCT ベースユニットに取り付けて、データをホストに転送すればこのエラーが解消します。 ☞データ転送の設定を確認してください。有効にした後、指定のホストに転送できるか確認してください)</p>
I-005	<p><u>ドッキング</u> 装置は POCT ベースユニットに接続されました。データ送信を開始します。</p>	
I-006	<p><u>残り測定回数</u> 最大測定回数に達するまで、あと%ld 回測定を行えます。カスタマーセンターにご連絡ください。</p>	<p>●最大測定回数 5500 測定に達すると機器はロックされます。残り%ld 回測定可能です。カスタマーセンターにご連絡ください。</p>
I-007	<p><u>コードチップ不良</u> 装置に不良コードチップが挿入されています。不良コードチップを取り除き、正しいコードチップを挿入してください。</p>	<p>コードチップが間違っていることを示しています。</p> <p>●使用中のテストストリップに該当するコードチップを差し込んでください。 コードチップを挿入する際は、ラベル面が上向きになっているか、テストストリップとコードチップは同じロット番号であることをご確認ください。 ●既に読み込んだコードチップを機器に差し込んだ状態で、新ロットのテストストリップを差し込んでいないか確認してください。 古いコードチップが差し込まれていれば、それを取り外して新ロットのコードチップを取り付けます。 ●機器の日付設定が正しいか確認してください。 現在よりも先の設定になっている場合は、日付を設定し直してください。 ●使用期限切れのテストストリップを差し込んでいないか確認してください。 期限の切れていないテストストリップを使用してください。 ●コードチップがしっかり差し込まれているか確認してください。 差し込まれていなければ、奥まで差し込みなおしてください。 ●新ロットのテストストリップのコードチップを読み込ませる時に、異なる種類のコードチップを差し込まなかったか確認してください。 異なっていればテストストリップのロットとコードチップの番号を確認し、適切なコードチップを読み込ませてください。 例：NT-proBNP 試験紙の場合、 Lot 12345678 であれば、コードチップ番号 PB4567（アルファベットは項目名の略、数字はロット番号の下 1 桁を除いた右 4 つの数字）となります。 ●新ロットのテストストリップで新ロットのコントロール液を測定する場合、各コードチップを読み込ませる順番を間違えていないか確認し、改めて適切なコードチップを読み込ませてください。 例えば、テストストリップのコード情報を読み込ませる時にコントロール液用のコードチップを差し込んでいた等。 ●機器からコードチップを抜き取り、機器を再起動します。 メインメニューになりましたら、画面表示に従って測定操作を行います。 この時、コードチップは必ず画面に“コードチップ挿入の”表示がされてから差し込みます。 ●上記手順で解消しなければ、 ・コードチップの抜き差しを何度か繰り返してください。 ・コードチップの裏面の接触部分を清掃し、入れ直してください。 ・解消しなければ、同じロットの別のコードチップを差し込んでください。</p>

I-008	<p><u>オペレーターログイン</u> オペレーター%ls、ログインしてください。 ログインしないと測定が中止されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●間違ったオペレータ ID が入力されていますので、オペレータIDを確認してください。(スキャンまたは入力したオペレータ ID がリストにない場合があります) ●解消しない場合、下記手順でご確認ください。 ・別のオペレータIDがスキャンまたは手入力できるか確認してください。 ・ホストとのコミュニケーションがアクティブになっているか確認してください。
I-009	<p><u>コメント入力</u> 結果を不可にするなら、コメントが必要です。 コメントを入力してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●コメントを入力してください。

E-101	<p><u>患者 ID 入力</u> 患者 ID が必要です。有効な患者 ID を入力してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●有効な患者 ID を入力してください。 ●解消しない場合、下記手順でご対応ください。 ・患者 ID を確認し、正しい患者 ID を手入力してください。 ・ホストとのコミュニケーションはアクティブになっているかご確認ください。 ・必要であれば、新しい患者 ID を作成してください。
E-102	<p><u>患者 ID 無効</u> この ID は、有効な患者 ID リスト中にはありません。 有効な患者 ID を入力してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●患者 ID を確認し、正しい患者 ID を入力してください。 ●解消しない場合、下記手順でご対応ください。 ・ホストとのコミュニケーションはアクティブになっているかご確認ください。 ・必要であれば、新しい患者 ID を作成してください。
E-103	<p><u>オペレーターID 入力</u> オペレーターID が必要です。 有効なオペレーターID を入力してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●オペレータ ID を確認し、正しいオペレータ ID を入力してください。 ●解消しない場合、下記手順でご対応ください。 ・別のオペレータIDがスキャンまたは手入力できるか確認してください。 ・ホストとのコミュニケーションはアクティブになっているか確認してください。
E-104	<p><u>オペレーターID 無効</u> この ID は、有効なオペレーターID リスト中にはありません。 有効なオペレーターID を入力するか、システム管理者に相談してください。</p>	
E-105	<p><u>パスワード無効</u> パスワードが無効です。 正しいパスワードを入力するか、システム管理者に相談してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●正しいパスワードを入力してください。
E-106	<p><u>コメント入力</u> この測定結果にコメントを入力してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●コメントを入力してください。
E-107	<p><u>オペレーターリスト未ロード</u> この装置にオペレーターリストがロードされていません。 継続するためには、オペレーターリストをダウンロードしなければなりません。 システム管理者に相談してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●装置を POCT ベースユニットにドッキングし、オペレーターリストをダウンロードしてください。
E-108	<p><u>パスワード不一致</u> パスワードが不一致です。もう一度パスワードを入力してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●正しいパスワードを入力してください。
E-109	<p><u>スキャン無効</u> スキャンしたバーコードは無効です。 有効なバーコードをスキャンするかシステム管理者に相談してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●バーコードが読み取れません。 ●正しいバーコードをスキャンしてください。
E-110	<p><u>オペレーターID無効</u> オペレーターIDが無効です。 測定を開始したオペレーターはもう一度ログインしなければなりません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●測定を開始したオペレーターはもう一度ログインしてください。

E-201	<p>テストストリップ使用期限切れ</p> <p>テストストリップ%ldの使用期限が切れています。</p> <p>本装置の日付設定を確認し、期限切れではないロットのテストストリップを使用してください。</p>	<p>●機器の日付設定を確認し、必要であれば日付設定を行ってください。</p> <p>●日付が正しかった場合、試薬の有効期限が切れていることが考えられます。コードチップとテストストリップを取り外し、新しい使用期限の切れでないテストストリップとそのロットのコードチップを使用してください。</p>
E-202	<p>コントロールロット使用期限切れ</p> <p>コントロールの使用期限が切れています。</p> <p>本装置の日付設定を確認し、期限切れではないロットのコントロールを使用してください。</p>	<p>●機器の日付設定を確認し、必要であれば設定を行ってください。</p> <p>●日付が正しかった場合、コントロールの有効期限が切れていることが考えられます。コードチップを取り外し、新しい使用期限の切れでないコントロールとそのロットに該当するコードチップを使用してください。</p>
E-203	<p>使用不可ロット</p> <p>本装置ではコード%ldのロットは使用できません。</p> <p>システム管理者に相談してください。</p>	<p>●そのコード番号のロットは、この機器では使用できません。許可されたロットを使用してください。</p>
E-204	<p>バーコードエラー</p> <p>テストストリップのバーコードが読み取りできません。テストストリップのバーコードをチェックし、再度読み込み、測定を繰り返します。</p>	<p>●テストストリップ裏面のバーコードの印刷・またはシールの貼り方などを確認してください。印刷がかすれていたり、シールが明らかにテストストリップからはみ出ているような場合には、読取ができない場合があります。</p> <p>●テストストリップが適切に差し込まれたか確認してください。</p> <p>●強い光、直射日光の下に装置を置かないでください。</p> <p>●解消しない場合、同じロットの別のテストストリップと別のロットのテストストリップを読み込ませてください。</p>
E-205	<p>テストストリップ抜き取り</p> <p>測定中にテストストリップが抜き取られました。</p> <p>必要なら新しいテストストリップを使用して測定を繰り返します。</p>	<p>●装置を再起動してください。(装置の電源を OFF し、コンセントから電源ユニットを抜き、バッテリーパックを使用している場合これも一旦外し、取り付け直し後、電源を入れ直してください)</p> <p>●必要であれば、新しいテストストリップで再測定してください。</p>
E-206	<p>テストストリップエラー</p> <p>本装置はテストストリップを認識できません。</p> <p>テストストリップをチェックし、測定を繰り返します。</p>	<p>●テストストリップを確認し、再度スタートしてください。</p> <p>●解消しない場合、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じロットの別のテストストリップを使用し、再測定してください。 ・別のロットのテストストリップを使用し、測定できるか確認してください。
E-207	<p>コードチップエラー</p> <p>コードチップが無効です。このコードチップを取り除き、測定を繰り返します。</p>	<p>●コードチップを入れ直して、再スタートしてください。</p> <p>⇒コードチップを挿入する際は、ラベル面が上向きになっているか、テストストリップとコードチップは同じロット番号であること確認してください。</p> <p>●上記手順で解消しなければ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードチップの抜き差しを何度か繰り返してください。 ・コードチップの裏面の接触部分を清掃し、入れ直してください。 <p>注意： 新ロットのテストストリップと新ロットの精度管理用コントロール(QC)を同時に使用する場合、両方のコードチップをそれぞれ読み込ませる必要があります。</p>
E-208	<p>テストストリップの挿入が速すぎ</p> <p>テストストリップの挿入が速すぎます。テストストリップを取り除く、もう一度挿入してください。</p>	<p>●差し込むスピードを速すぎないようにして、再度挿入してください。</p> <p>●解消しない場合、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいテストストリップを挿入してください。 ・テストストリップの裏のバーコードラベルに問題がないか確認してください。 ・強い光、直射日光の下に装置を置かないでください。
E-209	<p>テストストリップの挿入が遅すぎ</p> <p>テストストリップの挿入が遅すぎます。テストストリップを取り除く、もう一度挿入してください。</p>	<p>●差し込むスピードが遅すぎないようにして、再度テストをしてください。</p> <p>●解消しない場合、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいテストストリップを挿入してください。 ・テストストリップの裏のバーコードラベルに問題がないか確認してください。 ・強い光、直射日光の下に装置を置かないでください。
E-210	<p>QC 測定結果がありません</p> <p>QC 測定を行わなければなりません。</p>	<p>●QC(精度管理)測定を実施してください。</p>
E-211	<p>カバーを開けてください</p> <p>テストストリップガイド カバーが測定中に外されました。測定を繰り返します。</p>	<p>●測定中に検体滴下部のカバー(テストストリップガイドカバー)が外れました。カバーを正しい位置に取り付けて、再度測定をしてください。</p>

E-301	<p><u>日付無効</u> 日付が無効です。正しい日付を入力してください。</p>	<p>●「セットアップ」メニューから正しい日付と時間を入力してください。</p>
E-302	<p><u>バッテリー電圧低下</u> バッテリー電圧が低下しました。これ以上測定を行うことができません。バッテリーを交換または充電してください。</p>	<p>●フル充電したバッテリーパックに交換するか、電源ユニットを取り付けて充電をしてください。 ●電源ユニットの LED が点灯しているか確認してください。点いていなければプラグをしっかりと取り付け直してください。外れていると電源ユニットを取り付けても充電されません。それでも LED が点灯しなければ、電源ユニットを替えてください。</p>
E-303	<p><u>最大測定回数</u> 最大測定回数に到達しました。 カスタマーセンターにご連絡ください。</p>	<p>●5500 回測定に到達しましたため、機器がロックされ測定できなくなります。 カスタマーセンターにご連絡ください。</p>
E-304	<p><u>周囲温度</u> 測定を行うには温度が高すぎまたは低すぎます。 本装置の電源をオフし、30 後に測定を繰り返します。</p>	<p>●電源を OFF し、電源ユニットを取りはずしてください。室温を確認し、使用環境温度を守ってください。使用環境温度に 30 分以上装置を置いてください。 ●必要であれば、使用環境温度に合う部屋に行ってください。 ⇒使用環境温度: 18–32°C ⇒ヒーターや冷蔵庫、電子レンジ等の器具を使用して急速に温めたり、冷やしたりしないでください。また直射日光、真夏の車内は高温の原因となります。</p>
E-305	<p><u>メモリーフル</u> 本装置のメモリーが一杯です。 POCT ベースユニットに接続するか、この設定を無効にしてください。</p>	<p>●本装置をコンピューターに接続していない場合は「セットアップ→データハンドリング→通信」で、コンピューターをオフにしてください。そうすれば、新しい測定を行うたびに最も古いデータが削除され、このエラーが起こらなくなります。 ●本装置をコンピューターに接続してデータを送っている場合は、装置を POCT ベースユニットに取り付けて、データをホストに転送すればこのエラーが解消します。 ⇒データ転送の設定を確認してください。有効にした後、指定のホストに転送できるか確認してください)</p>
E-306	<p><u>周囲照明</u> 周囲の照明が明るすぎます。本装置を直射光から離し、測定を繰り返します。</p>	<p>●直射日光、強い光から装置を遠ざけ、再測定をしてください。 ●解消しなければ、装置を再起動してください。</p>
E-307	<p><u>バッテリー</u> 本装置はこのバッテリーでは動作できません。 正しいバッテリーパックを使用してください。</p>	<p>●乾電池が入っていないか確認してください。乾電池では本装置は動きません。 ●フル充電された指定のバッテリーパックを取り付けてください。 ●解消しなければ、新しいフル充電された指定のバッテリーパックを取り付けるか、電源ユニットを接続してください。</p>

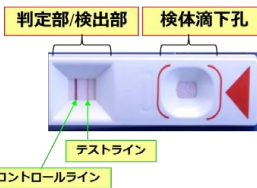
E-401

検体がありません

検体の検出に失敗しました。テストストリップを取り除き、必要ならば新しいテストストリップを使って、測定を繰り返します。

●検体の検出に失敗しました。エラー発生直後である場合、下記写真をご参照ください。

正常テストストリップ模式図：



エラー発生直後の写真例：



エラー発生直後の判定部/検出部の写真例：



*ただし、エラー発生から時間が経つと、正確な状況が確認できないので、ご注意ください。

●新しいテストストリップを使用し、再度測定してください。その際、下記を確認してください。

【考えられる原因および対処方法】

⇒原因：検体の滴下量不足

対処法：測定にはカーディアックシリンジまたは 150 μ 定量できるピペットを使用し、正確に 150 μ 滴下してください。

*カーディアックシリンジご使用の場合、正確に 150 μ (青色マークまで) 血液を抜き取り、検体に気泡が含まれないことを確認してください。

*定量ピペットご使用の場合、正確に 150 μ の吸引または排出が難しい場合があるので、ご注意ください。

⇒原因：検体の粘度が高い、ヘマトクリット値が高い、検体が凝固している

対処法：

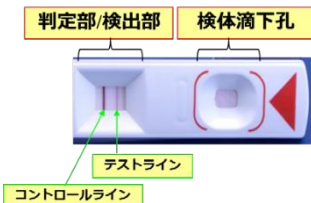
・テストストリップに検体が完全に浸み込んでいるか確認してください。

・展開しにくい条件の検体かどうか確認してください。

⇒強い光、直射日光の下に装置を置かないでください。

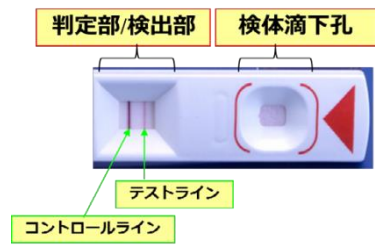
●解消しない場合、テストストリップ上に不均一な検体の流れが見られるか確認してください。特定検体において、その性質上展開が遅くなるものがあります。この場合、別の分析システムで測定してください。

●上記原因があてはまらない場合、カスタマーセンターにご連絡ください。

<p>E-402</p>	<p><u>テストストリップエラー</u> テストストリップエラーが検出されました。必要ならば新しいテストストリップを使って、測定を繰り返します。</p>	<p>●テストストリップを取り除き、下記写真をご参照ください。 正常テストストリップ模式図：</p>  <p>判定部/検出部 検体滴下孔 テストライン コントロールライン</p> <p>・血液が overflow していませんか。 ☞原因：滴下量が多すぎ（血液 overflow） 対処法：測定にはカーディアックシリンジまたは 150μ 定量できるピペットを使用し、正確に 150μ 滴下してください。 * カーディアックシリンジご使用の場合、正確に 150μ（青色マークまで）血液を抜き取り、検体に気泡が含まれないことを確認してください。 * 定量ピペットご使用の場合、正確に 150μ の吸引または排出が難しい場合があるので、ご注意ください。 ・テストストリップ内に試験紙が入っていますか。 ●下記手順で装置を再起動してください。 ・装置の電源を OFF し、コンセントから電源ユニットを抜いてください。 ・バッテリーパックを使用している場合、バッテリーパックを一旦外してください。 ・5～10 秒待ってバッテリーパックを再度取り付けてください。 ・電源ユニットを再度接続してください。 ・装置の電源を ON してください。 ●新しいテストストリップで再度測定してください。 ●解消しなければ、別ロットの新しいテストストリップで再測定してください。 ●それでも解消しなければ、カスタマーセンターにご連絡ください。</p>
--------------	--	--

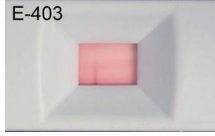
●滴下時のエラーが検出されました。エラー発生直後である場合、下記写真をご参照ください。

正常テストストリップ模式図：

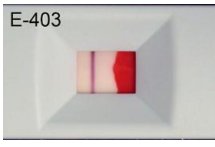


エラー発生直後の判定部/検出部の写真例：

①コントロールライン異常



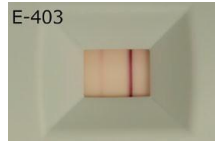
②血液が overflow しています



③検体が溶血しています



④抗原過剰の可能性があります(テストラインが非常に濃く、コントロールラインが非常に薄い・または出現していない場合)



滴下エラー

E-403

滴下エラーが検出されました。操作を確認し、新しいテストストリップを使って、測定を繰り返します。

*ただし、エラー発生から少しでも時間が経つと、正確な状況が確認できないので、ご注意ください。

●新しいテストストリップを使用し、再度測定してください。その際、下記を確認してください。

【考えられる原因および対処方法】

①コントロールライン異常

☞原因：検体のヘパリン化が不適切(転倒混和不足)、不適切な採血管を使用

対処法：

- ・ヘパリン添加採血管、静脈全血を使用しているかどうか確認してください。
- * (分離剤入り、EDTA、クエン酸、NaF、血清、血漿は不可)
- ・採血後の転倒混和をしているかどうか確認してください。

☞原因：干渉物質の影響(各測定項目の添付文書「妨害物質・妨害薬剤」をご参照ください)

対処法：

- ・検体が添付文書に記載されている妨害物質にあてはまるものはないか確認してください。
- ・エラーになるのは特定の患者検体なのか確認してください。特定検体において、その性質上展開が遅くなるものがあります。この場合、別の分析システムで測定してください。

次のページに続く⇒

		<p>⇒原因: 検体の粘度が高い、ヘマトクリット値が高い、検体が凝固している 対処法: ・テストストリップに検体が完全に浸み込んでいるか確認してください。 ・展開しにくい条件の検体かどうか確認してください。</p> <p>②血液が overflow しています ⇒原因: 滴下量が多すぎ(血液 overflow) 対処法: 測定にはカーディアックシリンジまたは 150 μ 定量できるピペットを使用し、正確に 150 μ 滴下してください。 * カーディアックシリンジご使用の場合、正確に 150 μ(青色マークまで)血液を抜き取り、検体に気泡が含まれないことを確認してください。 * 定量ピペットご使用の場合、正確に 150 μ の吸引または排出が難しい場合があるので、ご注意ください。</p> <p>③検体が溶血しています。 ⇒ 対処法: 溶血していない検体を使用してください。採血後に必要以上に強く転倒混和する、冷蔵・冷凍した検体、または、検体滴下時に強く滴下すると、溶血してしまう場合があるので、ご注意ください。</p> <p>④抗原過剰 ⇒原因: 検体中に抗原 (NT-proBNP/TnT/D-dimer/CK-MB/Myoglobin) 量が高濃度の場合、本装置で測定できない場合があります。 ⇒ 対処法: 測定したい項目が高濃度の可能性がある患者かどうか確認してください。再測定してもエラーが再発する場合、別の精密分析装置・外注などで測定してください。 ⇒強い光、直射日光の下に装置を置かないでください。</p> <p>●解消しない場合、 ・別のロットでは測定できるか確認してください。 ・別の項目では測定できているか確認してください。 ⇒ 特定検体において、その性質上測定できないことがあります。この場合、別の分析システムで測定してください。</p> <p>●上記原因にあてはまるものがなければ、カスタマーセンターにご連絡ください。</p>
--	--	--

<p>E-404</p>	<p><u>コントロールラインエラー</u> コントロールラインエラーが検出されました。新しいテストストリップを使って、測定を繰り返します。</p>	<p>●コントロールラインの検出に失敗しました。エラー発生直後である場合、下記写真をご参照ください。 テストストリップ模式図：</p>  <p>エラー発生直後の判定部の写真例：コントロールラインが出現していない：</p>  <p>*ただし、エラー発生から時間が経つと、正確な状況が確認できないので、ご注意ください。</p> <p>●テストストリップを取り除き、新しいテストストリップで再測定行ってください。 【考えられる原因および対処方法】</p> <p>☞原因：検体の滴下量不足 対処法：測定にはカーディアックシリンジまたは 150μ 定量できるピペットを使用し、正確に 150μ 滴下してください。 *カーディアックシリンジご使用の場合、正確に 150μ(青色マークまで)血液を抜き取り、検体に気泡が含まれないことを確認してください。 *定量ピペットご使用の場合、正確に 150μ の吸引または排出が難しい場合がありますので、ご注意ください。</p> <p>☞原因：検体の粘度が高い、ヘマトクリット値が高い、検体が凝固している 対処法： ・テストストリップに検体が完全に浸み込んでいるか確認してください。 ・展開しにくい条件の検体かどうか確認してください。</p> <p>☞原因：検体のヘパリン化が不適切(転倒混和不足)、不適切な採血管を使用 対処法： ・ヘパリン添加採血管、静脈全血を使用しているかどうか確認してください。 * (分離剤入り、EDTA、クエン酸、NaF、血清、血漿は不可) ・採血後の転倒混和をしているかどうか確認してください。</p> <p>☞原因：干渉物質の影響(各測定項目の添付文書「妨害物質・妨害薬剤」をご参照ください) 対処法： ・検体が添付文書に記載されている妨害物質にあてはまるものはないか確認してください。 ・エラーになるのは特定の患者検体なのか確認してください。特定検体において、その性質上展開が遅くなるものがあります。この場合、別の分析システムで測定してください。</p> <p>☞強い光、直射日光の下に装置を置かないでください。</p> <p>●解消しない場合、 ・別のロットでは測定できるか確認してください。 ・別の項目では測定できているか確認してください。 ☞ 特定検体において、その性質上測定できないことがあります。この場合、別の分析システムで測定してください。</p> <p>●上記原因にあてはまるものがなければ、カスタマーセンターにご連絡ください。</p>
--------------	---	---

<p>E-405</p>	<p><u>測定エラー</u> 測定エラーが発生しました。新しいテストストリップを使って、測定を繰り返します。</p>	<p>下記発生タイミングに従って、ご対応してください。</p> <p>●電源投入後かセルフチェック中に発生していますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強い光、直射日光から装置を遠ざけてください。 ・何度か再起動を行ってください。 <p>-5 回続けて電源オンオフしても発生するようであれば、カスタマーセンターへご連絡ください。</p> <p>●テストストリップを挿入したときに発生していますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テストストリップ裏を目視で傷や汚れ等があるか確認し、あれば別の新しいテストストリップに替えてください。 ・装置を再起動し、新しいテストストリップを使用してください。 ・新しいテストストリップを使用しても再発し、テストストリップ裏面のバーコードにも問題がなければ、カスタマーセンターへご連絡ください。 <p>●検体滴下後測定中に発生しますか。</p> <p>エラー発生直後である場合、E-403/E-404 の判定部/検出部写真例もご参照ください。新しいテストストリップで再測定してください。その際、下記ご確認ください。</p> <p>【考えられる原因および対処方法】</p> <p>⇒原因: 検体の滴下量不足 対処法: 測定にはカーディアックシリンジまたは 150 μl 定量できるピペットを使用し、正確に 150 μl 滴下してください。 * カーディアックシリンジご使用の場合、正確に 150 μl (青色マークまで) 血液を抜き取り、検体に気泡が含まれないことを確認してください。 * 定量ピペットご使用の場合、正確に 150 μl の吸引または排出が難しい場合があるので、ご注意ください。</p> <p>⇒原因: 検体の粘度が高い、ヘマトクリット値が高い、検体が凝固している 対処法: ・テストストリップに検体が完全に浸み込んでいるか確認してください。 ・展開しにくい条件の検体かどうか確認してください。</p> <p>⇒原因: 検体のヘパリン化が不適切(転倒混和不足)、不適切な採血管を使用 対処法: ・ヘパリン添加採血管、静脈全血を使用しているかどうか確認してください。 * (分離剤入り、EDTA、クエン酸、NaF、血清、血漿は不可) ・採血後の転倒混和をしているかどうか確認してください。</p> <p>⇒原因: 検体が溶血しています 対処法: 溶血していない検体を使用してください。採血後に必要以上に強く転倒混和する、または、検体滴下時に強く滴下すると、溶血してしまう場合があるので、ご注意ください。</p> <p>⇒原因: 滴下量が多すぎ(血液 overflow) 対処法: 測定にはカーディアックシリンジまたは 150 μl 定量できるピペットを使用し、正確に 150 μl 滴下してください。 * カーディアックシリンジご使用の場合、正確に 150 μl (青色マークまで) 血液を抜き取り、検体に気泡が含まれないことを確認してください。 * 定量ピペットご使用の場合、正確に 150 μl の吸引または排出が難しい場合があるので、ご注意ください。</p> <p>⇒原因: 干渉物質の影響(各測定項目の添付文書「妨害物質・妨害薬剤」をご参照ください) 対処法: ・検体が添付文書に記載されている妨害物質にあてはまるものはないか確認してください。 ・エラーになるのは特定の患者検体なのか確認してください。特定検体において、その性質上展開が遅くなるものがあります。この場合、別の分析システムで測定してください。</p> <p>⇒原因: 検体中に抗原 (NT-proBNP/TnT/D-dimer/CK-MB/Myoglobin) 量が高濃度の場合、本装置で測定できない場合があります。 対処法: 測定したい項目が高濃度の可能性がある患者かどうか確認してください。再測定してもエラーが再発する場合、別の精密分析装置・外注などで測定してください。</p>
--------------	---	---

		<ul style="list-style-type: none">● 解消しない場合、<ul style="list-style-type: none">・別のロットでは測定できるか確認してください。・別の項目では測定できているか確認してください。☞ 特定検体において、その性質上測定できないことがあります。この場合、別の分析システムで測定してください。● 上記原因にあてはまるものがなければ、カスタマーセンターにご連絡ください。
--	--	---

E-501	<p><u>セルフチェックエラー</u> セルフチェック中に一般的なエラーが検出されました。 エラーが解決しない場合、本装置の電源を一度オフしてから、再度電源をオンしてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●装置を再起動してください。(装置の電源を OFF し、コンセントから電源ユニットを抜き、バッテリーパックを使用している場合これも一旦外し、取り付け直し後、装置の電源を入れ直してください) ●セルフチェックが正常に完了しているかどうか確認してください。
E-502	<p><u>テストストリップ挿入</u> テストストリップが挿入されているとセルフチェックは実行できません。 テストストリップを取り除き、セルフチェックを繰り返します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●テストストリップを取り出し、装置を再起動してください。 ●解消しない場合、下記手順行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ・装置の電源を OFF し、コンセントから電源ユニットを抜いてください。 ・バッテリーパックを使用している場合、バッテリーパックを一旦外してください。 ・バッテリーパックを再度取り付けてください。 ・電源ユニットを再度接続してください。 ・装置の電源を ON してください。
E-503	<p><u>カメラエラー</u> セルフチェック中にカメラエラーが検出されました。 本装置を明るい直射光から離し、セルフチェックを繰り返します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●装置を直射日光や強い光のあたる場所から遠ざけて、再起動してください。 ●解消しない場合、下記手順行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ・装置の電源を OFF し、コンセントから電源ユニットを抜いてください。 ・バッテリーパックを使用している場合、バッテリーパックを一旦外してください。 ・バッテリーパックを再度取り付けてください。
E-504	<p><u>バーコードリーダー</u> セルフチェック中にバーコードリーダーエラーが検出されました。 本装置を明るい直射光から離し、セルフチェックを繰り返します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電源ユニットを再度接続してください。 ・装置の電源を ON してください。

E-601	<p><u>コードチップエラー</u> コードチップを読み込めません。このコードチップを取り除き、測定を繰り返します。</p>	<p>●コードチップを入れ直すか、正しいコードチップを入れ、再スタートしてください。 ☞コードチップを挿入する際は、ラベル面が上向きになっているか、テストストリップとコードチップは同じロット番号であること確認してください。 ●解消しない場合、下記を行ってください。 ・コードチップの抜き差しを何度か繰り返してください。 ・コードチップの裏面の接触部分を清掃し、入れ直してください。</p>
E-602	<p><u>システムエラー</u> 一般的なシステムエラー。 本装置に障害が発生し、測定を行えません。 カスタマーセンターにご連絡ください。</p>	<p>●次の手順を行ってください。 ・装置の電源を OFF し、コンセントから電源ユニットを抜いてください。 ・バッテリーパックを使用している場合、バッテリーパックを一旦外してください。 ・バッテリーパックを再度取り付けてください。 ・電源ユニットを再度接続してください。 ・装置の電源を ON してください。</p>
E-603	<p><u>ヒーターエラー</u> 温度またはヒーターエラー。 本装置の電源を一度オフしてから、再度電源をオンし、操作を繰り返します。 問題が解決しなければ、カスタマーセンターにご連絡ください。</p>	<p>注意：強い電磁波を発生する機器（携帯電話など）及び高い出力を有する機器（レントゲン、透熱療法装置、MRI など）の近くで使用しないでください。</p>
E-604	<p><u>カメラエラー</u> カメラエラー。本装置の電源を一度オフしてから、再度電源をオンし、操作を繰り返します。 問題が解決しなければ、カスタマーセンターにご連絡ください。</p>	
E-605	<p><u>ハードウェアエラー</u> ハードウェアエラー。ハードウェアまたは電子部品エラー。 本装置の電源を一度オフし、再度電源をオンし、操作を繰り返します。 問題が解決しなければ、カスタマーセンターにご連絡ください。</p>	
E-606	<p><u>シーケンスエラー</u> 測定シーケンスエラー。本装置の電源を一度オフしてから、再度電源をオンし、操作を繰り返します。 問題が解決しなければ、カスタマーセンターにご連絡ください。</p>	
E-607	<p><u>測定モジュールエラー</u> 測定モジュールエラー。本装置の電源を一度オフしてから、再度電源をオンし、操作を繰り返します。 問題が解決しなければ、カスタマーセンターにご連絡ください。</p>	
E-608	<p><u>ソフトウェアエラー</u> ソフトウェアエラーが検出されました。 本装置の電源を一度オフしてから、再度電源をオンし、操作を繰り返します。 問題が解決しなければ、カスタマーセンターにご連絡ください。</p>	

E-701	<p><u>通信エラー</u> DMS との接続に障害が発生しました。 本装置を一度 POCT ベースユニットから取り外してから、再度 POCT ベースユニットに取り付けます。 もし問題が解決しなければ、本装置の電源を一度オフしてから、再度電源をオンします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ホストシステムとの接続に失敗しました。 ●POCT ベースユニットから装置を取り外して、取り付け直してください。 ●解消しなければ、装置を再起動してください。
E-702	<p><u>通信エラー</u> DMS との通信中に障害が発生しました。 本装置を一度 POCT ベースユニットから取り外してから、再度 POCT ベースユニットに取り付けます。 もし問題が解決しなければ、本装置の電源を一度オフしてから、再度電源をオンします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ホストシステムとの間に情報伝達エラーが発生しました。 ●POCT ベースユニットから装置を取り外して、取り付け直してください。 ●解消しなければ、装置を光源から離してください。 ●装置を再起動してください。
E-703	<p><u>印刷エラー</u> プリンターとの通信中に障害が発生しました。本装置とプリンターの位置を確認してください。もし問題が解決しなければ、本装置とプリンターの電源を一度オフしてから、再度電源をオンします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●プリンターとのコミュニケーションに失敗しました。 ●以下のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・機器とプリンターの位置 ⇒装置およびプリンターの赤外線インターフェース窓が、きちんと向き合っているか、左右に 15%以上向きがずれていないか。“見通し線”を妨害するものがないか。 ・プリンターの選択設定 ⇒「セットアップ」→「通信」→「データハンドリング」→「プリンター」→から使用されるプリンターを選択してください。 ・プリンターの電源が入れているか ⇒h232 のプリンターはシチズン CMP-10(販売中止品)、ゼブラ MZ 320 を推奨しております。他のタイプのプリンターでは接続できない可能性があります。 ・プリンターのバッテリー ⇒バッテリーが充電されているか確認してください。充電がされていないと接続トラブルが発生する可能性があります。
E-704	<p><u>通信エラー</u> DMS との ICI 通信エラー。 もし問題が解決しなければ、本装置の電源を一度オフしてから、再度電源をオンし、操作を繰り返します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ホストシステムとの ICI コミュニケーションエラーが発生しました。 ●POCT ベースユニットから装置を取り外して、取り付け直してください。 ●解消しなければ、装置を再起動してください。
E-705	<p><u>内部通信エラー</u> 測定モジュールとの通信中に障害が発生しました。 本装置の電源を一度オフしてから、再度電源をオンし、操作を繰り返します。 問題が解決しなければ、カスタマーセンターにご連絡ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーションエラーが発生しました。 ●次の手順を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ・装置の電源を OFF し、コンセントから電源ユニットを抜いてください。 ・バッテリーパックを使用している場合、バッテリーパックを一旦外してください。 ・10 秒お待ちください。 ・バッテリーパックを再度取り付けてください。 ・電源ユニットを再度接続してください。 ・装置の電源を ON してください。
E-706	<p><u>内部通信エラー</u> テストストリップ用バーコードスキャナーとの通信中に障害が発生しました。 本装置の電源を一度オフしてから、再度電源をオンし、操作を繰り返します。 問題が解決しなければ、カスタマーセンターにご連絡ください。</p>	
E-707	<p><u>内部通信エラー</u> ID 用バーコードスキャナーとの通信中に障害が発生しました。 本装置の電源を一度オフしてから、再度電源をオンし、操作を繰り返します。 問題が解決しなければ、カスタマーセンターにご連絡ください。</p>	
E-708	<p><u>通信エラー</u> 一般的な通信エラー。 本装置の電源を一度オフしてから、再度電源をオンし、操作を繰り返します。 問題が解決しなければ、カスタマーセンターにご連絡ください。</p>	

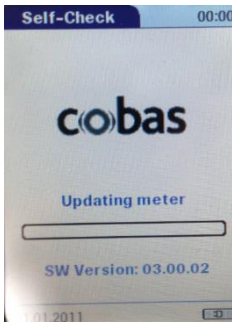
E-801	<p><u>メモリーエラー</u> 患者データベースの読み込みできず消去されます。 本装置の電源を一度オフしてから、再度電源をオンします。 問題が解決しなければ、カスタマーセンターにご連絡ください。</p>	<p>●次の手順を行ってください。 ・装置の電源を OFF し、コンセントから電源ユニットを抜いてください。 ・バッテリーパックを使用している場合、バッテリーパックを一旦外してください。 ・バッテリーパックを再度取り付けてください。 ・電源ユニットを再度接続してください。 ・装置の電源を ON してください。</p>
E-802	<p><u>メモリーエラー</u> QC データベースの読み込みできず消去されます。 本装置の電源を一度オフしてから、再度電源をオンします。 問題が解決しなければ、カスタマーセンターにご連絡ください。</p>	<p>注意：強い電磁波を発生する機器（携帯電話など）及び高い出力を有する機器（レントゲン、透熱療法装置、MRI など）の近くで使用しないでください。</p>
E-803	<p><u>メモリーエラー</u> コメントデータベースの読み込みできず消去されます。 本装置の電源を一度オフしてから、再度電源をオンします。 問題が解決しなければ、カスタマーセンターにご連絡ください。</p>	
E-804	<p><u>メモリーエラー</u> セットアップデータベースの読み込みできず消去されます。 本装置の電源を一度オフしてから、再度電源をオンします。 問題が解決しなければ、カスタマーセンターにご連絡ください。</p>	
E-805	<p><u>メモリーエラー</u> EEPROM メモリー内で障害が検出されました。 本装置の電源を一度オフしてから、再度電源をオンし、操作を繰り返します。 問題が解決しなければ、カスタマーセンターにご連絡ください。</p>	
E-806	<p><u>メモリーエラー</u> Flash メモリー内で障害が検出されました。 本装置の電源を一度オフしてから、再度電源をオンします。 問題が解決しなければ、カスタマーセンターにご連絡ください。</p>	
E-807	<p><u>メモリーエラー</u> メモリー内で障害が検出されました。 本装置の電源を一度オフしてから、再度電源をオンします。 問題が解決しなければ、カスタマーセンターにご連絡ください。</p>	

備考： %s はその時の数、番号等を示します

本装置をご使用頂く際の注意事項：

- ☞ 強い光や直射日光のあたる場所で本装置を設置しないでください。
- ☞ 強い電磁波の近くに本装置を設置しないでください。
- ☞ 測定可能環境温度は 18℃～32℃です。
- ☞ 測定可能環境湿度は 10%～85%（結露しないこと）です。
- ☞ 本装置を平らで振動の無い面に置いてください。

エラー番号が表示されないトラブル

	状況	対処法
1	<p>電源ボタンを押し、セルフチェックになるが、そのまま先に進まない。</p> 	<p>【対処法】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 画面下方に左から右に進む緑色のカーソルがあるが、そのすぐ上に“Updating meter”と表示されているか確認。 ② 表示されていれば、そのまま約 5 分放置するとメインメニューになる。 ③ メインメニューが表示されたら、再起動する。 ④ 通常通りセルフチェックが行われた後、メインメニューとなり測定可能となる。
2	<p>コードチップを読み込ませたロットにもかかわらず、試験紙を差し込むと、反応しない。 または“コードチップ挿入”が表示された。</p>	<p>【対処法】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 機器に何かコードチップが差し込まれているか確認します。 ② 差し込まれていれば、コードチップを機器から取り外します。 ③ コードチップを差し込まない状態で、初めから機器の表示通りの順番で測定操作を行います。 <p>(参考)コードチップ番号とロット番号の表記の見方 例:トロポニンT ロット:34512340 の場合 ⇒ コードチップ番号: TT 1234</p> <p>NT-proBNP : PB と 4 桁の数字 (例.. PB xxxx) トロポニンT : TT と 4 桁の数字 (例.. TT xxxx) D-ダイマー : DD と 4 桁の数字 (例.. DD xxxx) CK-MB : CK と 4 桁の数字 (例.. CK xxxx) ミオグロビン : MY と 4 桁の数字 (例.. MY xxxx)</p> <p>上記で解消しない場合は、カスタマーセンターまでご連絡ください。</p>